

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	身体拘束禁止やスピーチロック等について、管理者より口頭で説明をしているが、定期的に身体拘束や接遇についての研修が行われていない。	定期的に研修を受ける機会を持つ事で、基本から今一度学ぶ事が出来、利用者様の支援へ活かす事が出来るようになる。	定期的に研修が受けられるように研修の計画を立て、勤務によって研修に参加出来ないスタッフに対しても内容の伝達が行なえるようする。	12ヶ月
2	35 (13)	年2回の避難訓練を行ない、また、地域の防災訓練にも参加をしているが、実際に災害が起きた際の具体的な協力体制が確立出来ない。	原発災害のヨウ素を備蓄しているが、地域に伝わっていない。また、AEDも備えてあるが地域に伝わっていない為、地域の方の受け入れ体制を整え、地域へ情報発信出来るようにしていく。 施設自体が災害に合った場合に利用者様の避難等の協力を得られるように具体的な協力体制を確立する。	地域の方の受け入れ体制を整え、運営推進会議にて地域に情報発信を行う。 施設自体が火災等の災害が起こった場合に地域からどのような協力が得られるか運営推進会議にて相談を行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。